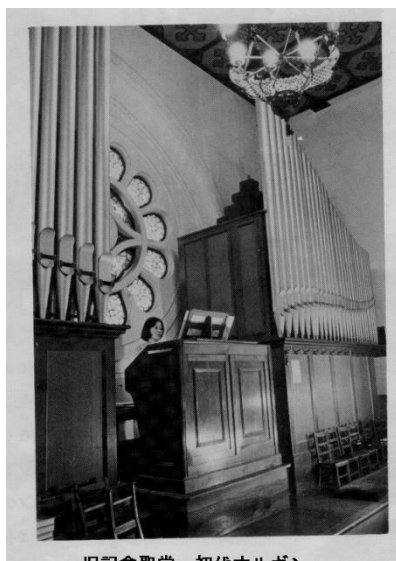


サビエル記念聖堂パイプオルガン・コンサートの歴史



旧記念聖堂 初代オルガン

1953年(昭和28年)3月パイプオルガンが記念聖堂に到着

サビエルの出身地スペイン・ナバラ県の知事より、オルガネリア・スパニョラ社(マドリッド)のオルガン(1930年製)がサビエル記念聖堂に送られた。日本ではただ1台のスペイン製のオルガン。パイプ数720本 ストップ12ストップ

1953年(昭和28年)11月14日(土) 14:00 19:00

パイプオルガンオープニング・コンサート

演奏 シスターアスゼンシオン

1974年12月24日(日) 第1回目 パイプオルガン・メディテーション スタート

演奏 山崎陽子(エリザベト音楽大学助教授)

メディテーションは定期的に行われていたが、山口の気候など、いろんな事情で、オルガンの傷みが激しくなり、新パイプオルガンに替えることを計画し、1982年(昭和57年)6月パイプオルガン更新委員会発足

石井洋之助(山口芸術短期大学教授) 田村幸志郎(山口市文化の会会長)

大隅清治(山口市観光協会会長)各氏ら9人で構成 委員長:ルドルフ・プロット神父

1984年8月22日 新パイプオルガン記念聖堂に到着

ボッシュ社(ドイツ) ストップ数 22 パイプ数 1523本

1984年12月22日 18:00 新パイプオルガンオープニング・コンサート

演奏 フランス・ボーン(エリザベト音楽大学助教授)

山崎陽子(エリザベト音楽大学助教授)

山口市民合唱団・山口大学混声合唱団 荒瀬恵美(Org.)

～メディテーション再びスタート～

1991年9月5日 二台目のオルガン火事で焼失

1991年6月 135回をもってパイプオルガン・メディテーション中断

1998年 6月27日(土) 19:00

6月28日(日) 14:00

3台目パイプオルガンオープニング・コンサート

ベッケラート社(ドイツ) ストップ数 29 パイプ数 1933本

演奏 ホセ・エンリケ・アヤラ・ハルネ(セビリア大聖堂オルガニスト)

1998年 9月19日(土) 19:00

136回 パイプオルガン・メディテーション再開

演奏 寺岡恵美(Org.) 福岡バツハコレギウム

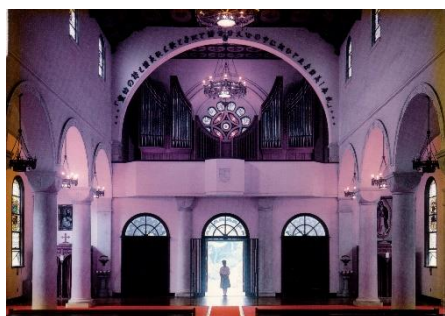
2005年 12月23日(金・祝) 18:30 第200回 クリスマスコンサート

演奏 寺岡恵美(Org.) サビエル記念聖堂少年少女合唱団 ステラ

川口三値子(ハープ)

2017年 9月3日(日)14:00 第300回

演奏 安積道也(Org.)



旧記念聖堂2代目のオルガン・全体 1/3

